

会議名	第3回ミナコレ(MINATO COLLECTION)イベント管理運営等業務委託事業候補者選考委員会
開催日時	令和5年5月29日(月曜日) 午後2時00分から3時30分まで
開催場所	港区役所3階産業・地域振興支援部会議室
委員	(出席者) 文化芸術事業連携担当部長 荒川 正行(委員長) 産業・地域振興支援部地域振興課長 木下 典子(副委員長) 産業・地域振興支援部観光政策担当課長 宮内 宏之(委員) 企画経営部デジタル改革担当課長 多田 伸也(委員) 教育委員会事務局教育推進部図書文化財課長 齊藤 和彦(委員)
事務局	産業・地域振興支援部地域振興課文化芸術振興係
傍聴者	非公開のためなし
会議次第	1 開会 2 第二次審査実施概要について 3 事業候補者によるプレゼンテーション及びヒアリングの実施 4 第二次審査結果及び事業候補者の選定について 5 その他 6 閉会
配付資料	・議事次第 ・資料1 第二次審査実施概要 ・資料2 第二次審査採点基準表(1事業者分) ・資料3 第一次審査・第二次審査集計結果(※採点終了後、机上配布) ・資料4 第2回選考委員会議事録概要 ・参考資料1 第一次審査集計結果
会議の結果及び主要な発言	
委員長	1 開会 第3回ミナコレ(MINATO COLLECTION)イベント管理運営等業務委託事業候補者選考委員会を開会する。 2 第二次審査実施概要について 資料1 第二次審査実施概要について、事務局より説明をお願いしたい。
事務局	資料1について説明。
委員長	何か質問、意見等あるか。
	(委員一同なし)
委員長	3 事業候補者によるプレゼンテーション及びヒアリングの実施について

	<p>これより、事業候補者によるプレゼンテーション、質疑応答を実施する。</p> <p>なお、質疑応答終了まで、事務局が進行を行う。</p>
事務局	これより、C事業者のプレゼンテーション及び質疑応答を実施する。
	<p>C事業者入場</p> <p>C事業者（プレゼンテーション 10分）</p>
事務局	提案内容について、各委員から質問等はあるか。
D委員	各々、本業務に取り組む上で予測される課題及び簡単な経歴等をご説明いただきたい。
事業者 (業務責任者)	<p>本業務の業務責任者をさせていただく。本業務に取り組む上で予測される課題は、調整業務だと考えている。多くの美術館・博物館、大使館等が参加するため、綿密な調整業務が必要となるが、業務責任者として、責任を持って行う。簡単な経歴等は、本事業の類似業務として、港区事業では他部署で実施していたワールドフェスティバル事業で大使館等との調整業務、昨年度ミナコレのスタンプラリーイベントの経験がある。港区事業以外では、東京 2020 大会にて、イギリス大使館との交渉・調整等の経験がある。</p>
事業者 (統括責任者)	<p>本事業の統括責任者をさせていただく。本業務に取り組む上で予測される課題は、進行管理、予算管理と考えているが、業務責任者と連携の上、全体的なスケジュールをしっかりと管理する。簡単な経歴等は、これまでは主に官公庁等の観光振興事業を担当していたため、区民等に大使館等を身近に感じていただいた上で、港区の国際交流の発展に貢献させていただきたい。</p>
事業者 (業務担当者)	<p>本業務では、大使館等との交渉、調整等について主に担当させていただく。本業務に取り組む上で予測される課題は、交渉・調整等を行う際の多言語対応だと考えているが、本事業の類似業務として、港区の他部署で実施していたワールドフェスティバル事業で大使館等との調整業務、港区事業以外で東京 2020 大会にて、イギリス大使館との交渉・調整等の際、私が英語を使用した上で詳細な調整等を行った経験がある。本イベントの交渉・調整等の際も、経験を活かし貢献させていただきたい。</p>
D委員	<p>業務担当者の方に、お伺いしたい。</p> <p>これまでに、区内の大使館等はどの程度訪問したか。</p>
事業者 (業務担当者)	ワールドフェスティバル事業の際に、可能な限り訪問した。区内の大使館等で訪問したことがあるのは、約半数の 40 か国程度である。
C委員	区は、より多くの区民等にご参加いただきたいと考えているが、どのような広報周知を考えているか。また、昨年ミナコレスタンプラリー

	一を実施した際に感じた課題等があれば、ご説明いただきたい。
事業者 (業務責任者)	<p>まず、広報周知については、本イベント専用のホームページ等を作成し、イベント期間中の運営及び積極的な SNS 等の活用により若年層を中心に、幅広い区民等に向けて周知する。</p> <p>昨年ミナコレスタンプラリーを担当した際、デジタルツールを使用することに対して抵抗を感じるとの意見が多かった。そのため、各自のスマートフォン一つで、スタンプラリーの参加から参加者特典応募まで完結する利便性について、広く周知していく。</p>
C委員	スマートフォンを所持していない子どもや高齢者の方にもご参加いただくために紙のスタンプラリーを実施するのだが、紙の周知方法についてはどう考えているか。
事業者 (業務責任者)	発注者と調整等を行った上で、港区の広報誌及びホームページ等を活用したい。
E委員	ご説明いただいたもの周知方法に、想定しているアプローチ方法はあるか。
事業者 (業務責任者)	昨年のミナコレ(MINATO COLLECTION)スタンプラリーに参加するために LINE 登録をし、まだ登録解除をしていない方については積極的にアプローチする。
B委員	本イベントを実施する際、想定されるトラブル及び対応策があれば、ご説明いただきたい。
事業者 (業務責任者)	トラブルについては、スマートフォン等が接続できない等想定している。本イベント専用のコールセンターを設置し、お問い合わせをいただき、解決が難しいようであれば、スタッフが施設に向かう等の対応を行う。
B委員	区の事業を実施する際には、インクルーシブな視点が必要とされているのだが、配慮が必要な方への対応はどう考えているか。
事業者 (業務責任者)	チラシ・ポスター等を作成する際は、スマートフォン等をかざすだけで音声読み上げを行う、色彩や文字の大きさ等を見やすいものにする等を考慮する。
A委員	プレゼンテーションの際、御社だけが美術館スタンプラリー、大使館スタンプラリーの実績を持っているとのご説明があったが、詳細についてご説明いただきたい。
事業者 (業務責任者)	港区内には、多くの美術館や博物館、国内の約半数以上の大使館等があり、区内の美術館スタンプラリー、大使館スタンプラリーの実績は、弊社が最も多いという意味で申しあげた。
A委員	昨年のミナコレスタンプラリーの参加者について、積極的なアプローチを行うとのことだが、区は、文化芸術に興味がない方にもご参加いただくきっかけを作りたいと考え、本イベントを実施する。文化芸

	術に興味がない方に向けて効果的な周知方法等があれば、ご説明いただきたい。
事業者 (業務責任者)	積極的な SNS 等の活用により若年層を中心に、幅広い区民等に向けて周知することが最も効果的だと考える。また、港区と調整を行った上、区内の小、中学校等へのチラシ・ポスター等の配布を行い、子ども及び保護者に向けて周知する。
委員長	今回の事業の告知等については、多言語対応は考えているか。
事業者 (業務責任者)	港区と調整の上、可能な限り多言語対応についても検討する。
B委員	様式7-2をみると、子どもや若年層に向けたアプローチをメインとしているが、高齢者についてはどのように考えているのか。
事業者 (業務責任者)	今までの実績をふまえ、高齢者は平日に時間の余裕があることが多く、参加者数も多いため、若年層に向けたアプローチを中心としてご提案させていただいた。
C委員	より多くの美術館及び博物館等にご参加いただくと記載されているが、具体的にどのように考えているのか。また、大使館については、どのようなアプローチを行うのか。
事業者 (業務責任者)	美術館及び博物館等について、まず、昨年ご参加いただいた美術館及び博物館等へのアプローチを行った上で、新たな美術館及び博物館へのアプローチを行う。新たな美術館及び博物館についてはより丁寧なご説明を行う必要があり、時間も要するが、万が一ご参加いただけなかった場合、結果として参加いただく美術館及び博物館が少ないというリスクがある。そのため、ご参加いただける可能性が大きい美術館及び博物館等から順番にアプローチを行うべきだと考える。
C委員	大使館についても同様に考えているのか。
事業者 (業務担当者)	大使館についても、港区のワールドフェスティバル事業を担当していた際にご参加いただいた大使館から優先的にアプローチを行う。
事業者 (業務責任者)	補足でご説明させていただく。過去にご参加いただいた大使館の内、多くの区民等にご訪問いただける区の事業への参加を楽しみにされている大使館も多いため、ご参加いただける可能性も高い。
E委員	美術館や博物館等は、有料施設もあるため入館者数が増えるという価値を感じた上でご参加いただきやすいが、大使館等は多くの区民等の方が訪問する恩恵等があるのか。
事業者 (業務責任者)	多くの大使館等は、このようなイベントに参加することで、日本国民に自国のことを知ってもらおうきっかけとしたいと考えている。
事業者 (業務担当者)	多くの大使館等は、もっと多くの方に自国のこと知ってほしいが、少人数体制のため独自に何か企画することが難しく、このようなイベントへの参加をきっかけにしたいと考えている。

事務局	他に質問等あるか。
	(委員一同なし)
	(事業者、退室)
	(委員一同、採点) (事務局集計後、集計結果について各委員の机上へ配布)
委員長	4 第二次審査結果及び事業候補者の選定について 資料3 第一次審査・第二次審査集計結果について、事務局からご説明をお願いしたい。
事務局	資料3について説明。
委員長	それでは、採点の講評について、各委員からご説明いただきたい。
D委員	類似業務経験が豊富であり、安心してまかせられる事業者だと感じた。多言語対応、高齢者への対応等で説明が不足している部分があるものの、発注者と調整の上で前向きに検討する等、誠実な対応が期待できる。
C委員	広報面、トラブル対応等様々な角度から質問をしたが、広い視野か回答いただけたこと、すでに施設との信頼関係が築かれていること、特に事業責任者が誠実な姿勢で受け答えしていたこと等、安定性が感じられた。
E委員	実績とノウハウが蓄積され、安定した事業実施が可能であるが、提案の発展性については感じられなかった。
B委員	豊富な実績があること、質疑応答もよどみなく進行していたこと等、概ね問題ない。しかし、危機管理については、デジタル面ばかりご説明いただいた点に物足りなさを感じた。本イベントがマンネリ化しないよう、開拓化精神をもった上で、取り組んでいただきたい。
A委員	全体的に安定感があり、安心してまかせられる事業者ではないか。類似業務実績が豊富であり、提案内容の実現性はとても高いと感じる一方で、提案の発展性について感じるができなかった。
委員長	現時点で各委員の採点について大きな点数の離れは確認できないが、ご質問・ご意見等あるか。
E委員	事務局に質問をさせていただく。 昨年ミナコレ (MINATO COLLECTION) スタンプラリーは、何人ご参加いただいたのか。
事務局	昨年度は、スタンプラリー開催期間が令和4年12月1日から24日まで、参加者数は2,096人である。
委員長	他にご質問・ご意見等あるか。
	(委員一同なし)
委員長	ただいまの議論をふまえ、C事業者を事業候補者として決定してよいか。

	(委員一同了承)
委員長	事務局より、事業者名の発表をお願いしたい。
事務局	事業者名について発表。
委員長	5 その他 事務局より連絡事項についてご説明いただきたい。
事務局	資料4について、訂正等あれば、事務局まで連絡をお願いする。 配布資料については、全て机の上に置いての退室をお願いする。
委員長	事務局の説明について何か質問等はあるか。
	(委員一同なし)
委員長	以上で、「第3回ミナコレ(MINATO COLLECTION)イベント管理運営等 業務委託事業者候補者選考委員会」を閉会する。